



小林ゼミ

オフィスアワー

募集ガイダンス

注意事項

「ゼミ」というもの

- ・ 講義・実習のように考えてもらっては困る
 - 「出席すれば単位がもらえる」ものではない
 - ゼミの時間だけでは研究は進まないし、小林とマン・ツー・マンでもやらない
 - 一人でやってても大したことはできない
- ・ テーマに関しては知らないこと」がたくさんあると思う
 - ・ 知らないまま放っておく≡卒業できない
 - ・ 「知らなかったことがわかるようになる」「できなかったことができるようになる」楽しみを体感してほしい
 - ・ 分からないことは分かる人に聞くなどして、解決するように努めること

ゼミ運営

- ・ 主体は学生自身
 - 小林の仕事は，学生のやりたいことをサポートし，卒業できるレベルに持っていくこと
 - 黙ってたら，何も進まない
- ・ たくさん勉強してください
 - ゼミのメンバーとたくさん話しをしてください

小林ゼミの
メンバー構成
2018年10月現在

大学毕业生：6名

学部生：21名

(男17名,

女4名)

進学予定：

0名(16名のうち)

まとめると…

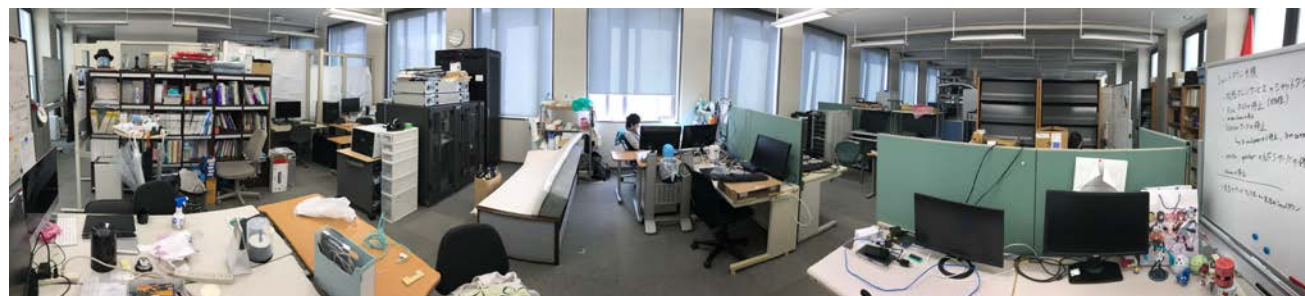
大学院生：6名

学部生：21名（男17名，女4名）

進学予定：0名(4回生16名のうち)

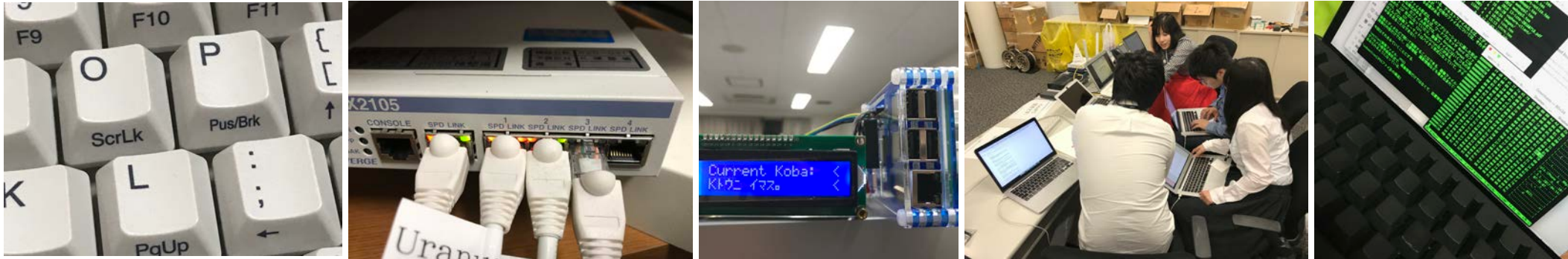
大学院棟3階：エレベーター前
K棟北棟2階：TK211

ほぼ毎日、誰かが使っています



ゼミ生の進路

- ・ 分類でいうと「情報サービス業」がほとんど
 - 総合情報学部全体でも半数程度が「情報サービス業」
- ・ 具体的な事業
 - システム・インテグレーター（Sier：えす・あい・あー）
 - ソフトウェア開発事業
 - 大手インフラ事業
 - 通信，電力，ガス，運輸，金融機関等，及びそれらの関連会社
- ・ その他
 - 教員（高校），地方公共団体，など・・・



ゼミの研究内容と 活動内容



学生の研究内容（1）

- ・ コンピュータ利用技術
 - Web利用時の脆弱性対策
 - マルウェア対策
 - ソフトウェア開発
 - スпам対策
- ・ その他のテーマについてはゼミのホームページを参照してください
 - <http://www.firefly.kutc.kansai-u.ac.jp/>



学生の研究内容 (2)

- ・ ネットワーク運用技術
 - 侵入検知・トラフィック解析
 - IPv6ネットワークの運用技術
 - 無線LAN・Bluetoothを応用した技術開発
 - P2P（を利用した各種情報システムの開発）
- ・ その他のテーマについてはゼミのホームページを参照してください
 - <http://www.firefly.kutc.kansai-u.ac.jp/>



ゼミでの活動（毎週のゼミの時間: 年間20数回）

- ・ 3月末

- 勉強会
- 研究紹介（大学院生，新4回生から）

- ・ 3回生春学期

卒論追っかけ・進捗報告

- ・ 3回生秋学期

研究進捗報告

☆夏期休暇中

学外のイベント参加

（ゼミ合宿？）

インシデントレスポンス大会

全体報告会

インターンシップ など

☆春期休暇中

学外のイベント参加

インターンシップ など

ゼミでの活動（毎週のゼミの時間: 年間20数回）

- ・ 4回生春学期

研究進捗報告

- ・ 4回生秋学期

研究進捗報告

- ・ 12月上旬

中間発表会

- ・ 2月中旬

卒業研究発表会



☆夏期休暇中

学外のイベント参加

（ゼミ合宿？）

インシデントレスポンス大会

全体報告会 など

今回の応募に関するイレギュラー事象

2019年度（3回生のとき）は、春集中

2019年春学期・・・集中：週2コマ（実際には しない）

2019年秋学期・・・不在（滞在場所：未定）

2020年度（4回生のとき）は、秋集中

2020年春学期・・・不在（東京オリンピック後に帰国予定）

2020年秋学期・・・集中：週2コマ（実際には しない）

ですが、募集人数は他のゼミ並にします（減らしたりしません）

大学院進学を考えてる人，内部進学・一般入試，いずれでも，
問題なく受けられるようにします

ゼミでの活動（毎週ゼミの時間以外：年間300日以上）

- ・ アイディア出し

- 過去の研究を発展させるアイディア
- 新しい仕組み・システムを開発するためのアイディア

- ・ 研究のための勉強

- 文献調査(英文・和文, 問わず. Web上の記事ではない)
 - 他人の書いた論文を読んで理解する
- ・ 自分のやりたいことの「立ち位置」を確認する
- ・ プログラミング（それ自体を目的にはしない, あくまでも研究を遂行していく中で, プログラミングを学ぶ）

- ・ システムの（構築・開発・）調整・実験

- 自分のやりたいことを実現するための必須事項
- これがないと, 議論にならない

ゼミでの活動（毎週ゼミの時間以外：年間300日以上）

- ・ 毎週の報告書の執筆・・・毎週報告（研究以外のいろいろなことも含めて）
 - ゼミの時間の直前に「ちょっとだけ」研究っぽいことをすることの防止
 - ・ ゼミのメンバーとの対話
 - ★★★★★班ごとのミーティング★★★★★
 - お互いに信頼関係を結ぶ
 - 最も相談しやすい関係づくり
 - ・ その他プロジェクトの遂行
 - コンテスト関係の勉強会 等
-
- K棟演習室・大学院棟スペースはいつでも使ってもらって構わない
 - ゼミ生と一緒に過ごす時間を多くとってもらいたい



応募書類

『志望理由欄』 記入事項

- ・ 本演習を特に希望する理由
 - 何故，小林ゼミに入りたいか
 - 本演習に対する意気込み，実現したいことまたは興味を持っていること
 - ホームページに掲載している研究テーマの中，もしくは関連する事項で，やってみたいこと／興味を持ったことについて，漠然としたものでよいので，これからやろうとすることをまとめる
- ・ 卒業後の進路希望
 - 大学院進学を推奨します

応募者への課題

- ・ 情報処理推進機構発行の『情報セキュリティ10大脅威2018』の組織部門の中から、興味を持った脅威いずれか一つ（志望理由の興味分野との関連性は問わない）について、
 - ・ 600字程度で要約し、
 - ・ 大学内での発生可能性とそれが発生してしまった時の影響について考察しなさい。

昨年 順位	個人	順位	
1位	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用	1位	
2位	ランサムウェアによる被害		
3位	スマートフォンやスマートフォ 狙った攻撃		3位
5位	ウェブサービス		4位
4位			位
			5位
			ログイン
			脆弱性の顕在化
			攻撃のビジネス化 (アンダーグラウンドサービス)
			インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
ラ ク外	IoT機器の不適切	10 位	8位

URL等は自分であれ

調査